

GR-GUT2018シンポジウム

# 発生工学・ゲノム編集による 遺伝子組換え動物作出と 栄養学研究への応用



日時: 11月9日(金) 14:00-16:30

会場: 東京大学農学部FS棟中島董一郎記念ホール

世話人: 角田 茂(東京大学大学院農学生命科学研究科)

主催: 東京大学大学院農学生命科学研究科

若手を中心とする消化管研究グループ(GR-GUT)

後援: 日本栄養・食糧学会

協賛: 株式会社ライフ・サイエンス研究所

## プログラム

14:00 開会挨拶

14:05-14:40

1、発生工学による遺伝子改変マウスの作出と農産物由来成分の機能性評価への応用

角田 茂(東京大学大学院農学生命科学研究科)

14:40-15:15

2、生体イメージングによる食シグナルの可視化解析

安達 貴弘(東京医科歯科大学難治疾患研究所)

15:15-15:50

3、遺伝子改変ラットがもたらす食品・栄養学研究の新たな可能性

豊島 由香(日本医科大学先端医学研究所)

15:50-16:25

4、胚の体外操作を要しないゲノム編集動物作製法GONADの開発と応用

大塚 正人(東海大学医学部)

16:25 閉会挨拶

問い合わせ先: 角田 茂 ([akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp))

本シンポジウムは東京大学大学院農学生命科学研究科大学院講義「応用動物科学セミナー」としても認定されています。学生の聴講自由です。